

さいたま市シニアユニバーシティー岩槻校第9期校友会会報第4号

会長挨拶

会長 関谷 ○

2月の連合文化祭展示出展・芸能発表の皆さんご苦労様でした。特に協議会の文化祭から連合の文化祭まで継続し引っ張って来てくれた前沢さん・三品さんには感謝・感謝です。振返ればとても楽しい練習と舞台でした！！ありがとうございました。

1年は早いものですね、H29年度は終了しようとしております。

今期2年目の9期会長として、岩槻協議会では企画部長として、連合会では常任理事として（文化祭芸能関連副・さいたまマーチ主担）担当し小生としてはオーバーペースの忙しい1年でした。

この関係でどうしてもお膝元の9期会長としての任務がおろそかになりがちでしたが、サポートして頂いた執行部の皆さんのおかげで文化祭・森林公園散策・JAL整備工場見学・素人落語・リング狩り・各自主講座・浅草演芸場観劇等々沢山の事業を盛大に盛上げて頂きました積極的に参加して頂いた皆さんに感謝致します、会長をさせて頂き他の期からもうらやましがられており誇りに思っております、ありがとうございました。

すでに来季の計画検討及び総会に向けての準備を進めておりますが、今期と同じように元気に参加し、大いに楽しみましょう（元気なうちに）。

『追伸』

既に緊急連絡網でお知らせ致しましたが、2月14日に4班の江原さんが急遽お亡くなりになりました、ご冥福をお祈り致します。

当日は9期の事業（浅草演芸場観劇）に元気に参加され、私の右前の席で「尻が痛くなってしまったよ」と言っていた姿が臉に蘇ります、途中で退席し家路につき一段落した夕餉の出来事の様です、奥様の意向もあり家族葬との事でしたので葬儀参列も控えました。

忘年懇親会 寿々家にて開催

1~4班の企画で29年忘年会が盛大に開催。我が9期の名MC坂本さんの進行で時間を忘れて盛り上がった。関谷会長から「文化祭での活躍はハプニングもあったが、コーラスは出色の出来栄であった。我が9期ここにありの感があった」との挨拶から始まり、圧倒的な女性軍団の圧力に男性陣はたじたじであったが、何とか明脈が保たれたようであった。岩槻でもハイクラスと称される名店での酒宴で明日の9期の活躍を誓い、早速連合出演の練習に向けてのスタートを切った。



矢張り女性が優勢？



ここでも女性が優勢？



みんな一つの輪になって！

史跡めぐりクラブ

平成 29 年度の日帰りバス旅行は、11 月 15 日（水）サロンバスで総勢 26 名、岩槻駅前通り埼玉りそな銀行前を、7 時 45 分集合即出発、東北道・圏央道・関越道を経由し沼田インターを降りて 120 号線を北上、吹割の滝駐車場に到着、滝への階段を降りて川の流れを右に見て展望岩に、三方から河床を割くように水しぶきを上げて流れ込む滝に圧倒されながら記念撮影、その後上流の橋を渡り遊歩道を散策、上から滝を眺め下山。



昼食とリンゴ狩りのため「原田農園」へ、リンゴ狩りが食事前だったせいか皆さん遠慮されて 1 個くらい試食しあとは眺めているだけでした。

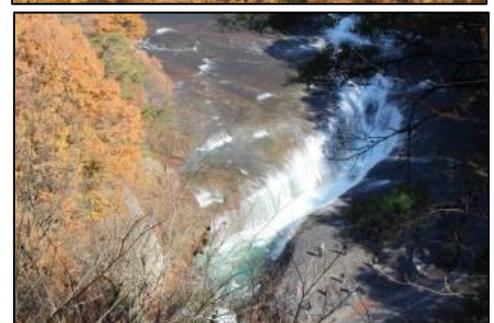
昼食後は、お土産など購入のため「道の駅 川場田園プラザ」へ、みなさん十分に満足されましたか？

往復の車中、頭の回転のためクイズが出題されました。往路は「象形文字」、復路は「クイズ大会日本・世界編」として正解の多い方が賞品獲得となりました。

クイズなどの後は、コーラス・カラオケでワイワイ・がやがやと騒いでいるうちに無事岩槻駅に午後 5 時 40 分到着。

幸い好天に恵まれ、楽しい一日でした。

計画から実行までの幹事さん、そして参加された皆様のご協力有難うございました。



史跡めぐりクラブ恒例の初詣を今年は、1月6日土曜日に8期校友会19名と共同で旅行会社企画の成田山初詣に9期11名は参加いたしました。

この日は、冬晴れの好天気恵まれて、岩槻駅前を午前8時に出発して岩槻ICから東関道経由で酒々井PAへ、ここで休憩して、このあと富里ICで降りて成田山門前にある「米屋観光センター」に午前9時45分頃到着、ここから10分程歩いて総門へ、仁王門をくぐって大本堂に参拝、このあと三重塔を後ろに見て釈迦堂へ、額堂、光明堂、醫王殿、平和大塔まで歩いて拝観してから「米屋観光センター」で食事を済ませて成田山を正午に出発。

次の目的地、「関東3大蔵の街」と云われる佐原へと向かいました。佐原の「東薫酒造(株)」へは、午後1時頃到着。ここでは松の内と言う事もあり、鏡開きのイベントがあり、このあとお決まりの試飲をしてから9期は、佐原の街並みを散策致しました。午後1時40分頃佐原を発って最後の目的地大洗のお魚市場「イエローポート」に向かいました。お魚市場ではおみやげを買い、「イエローポート」を午後4時頃出発して常磐道の守谷SAで休憩してから三郷JCT経由で予定通り岩槻駅前に午後5時30分頃に到着致しました。

一日中天気にも恵まれ事故怪我もなく、車中で飲んだ「どぶろく」の味は格別でした。忘れてはいけないのは、8期から頂いた日本酒の味、銘柄は？とにかく楽しい初詣でした。8期の皆さんお世話になりました。



成田山新勝寺大本堂



成田山の平和大塔



伊能忠敬旧宅前にて

「コミュニケーション」の講座を聞いて

4班 坂本〇〇

9期の自主講演で仲間内の講師を迎えるのは、浪江さんの「日本一周一人旅」の講話以来だと思います。今回の瀧田さんは日ごろからの勤勉さと、人生経験の豊富さを彷彿させるような講義でした。私自身コミュニケーションという言葉は、勿論聞いたこともあれば普段使う言葉ではありますが、その中身については深く考えたことはありませんでした。

今回の講座を受けてコミュニケーションとは、私たち伝える側の意図を相手に受け取ってもらうことだと言う事が分かりました。だから、コミュニケーションの主人公は受け手側という事になり、すなわち人間関係の構築、改善、そして、信頼関係づくりを培うものだという事が理解できたような気がします。

人との関わり合いには大切な話を一人も席を立つことなく皆さん最後まで我慢をして、聞いておられたという事は、直接日常生活にも関係のある話だったからだと思います。普通に講義をするという形ではなく、ロールプレイや声を出して実践できたことが、有意義で退屈しなかったし、講義内容や進め方など、ユーモアのある講義で皆さん楽しかったのではないかと思います。また次回の瀧田さんのお話を楽しみにしております。ありがとうございました。



2月14日水曜日 4班の企画で浅草演芸ホールの寄席に行きました。

当日は、冬ばれの好天気にも恵まれて参加27名の方々と一日楽しいひと時を過ごしました。

私は、住まいの関係で駒宮さんと一緒に新越谷駅で、春日部駅9時56分発の電車に乗って来るみなさんを待ちました。みんなの顔を見た時には合流できてホット一安心いたしました。

電車は予定通り浅草駅に到着し、集合時間までにはちょっと時間があるので、浪江さんの道案内で雷門経由と坂本さんと一緒に劇場直行組とに分かれて浅草演芸ホールに向かいました。浅草駅より徒歩10分、賑やかな仲見世を通り抜けたところにある。演芸ホールの前で集合写真を撮ってもらってから入場しました。11時40分の開演までの間に明治座からお取り寄せの「深川弁当」を狭い席で摂りました。丁度食べ終わった頃、テンテントントンのお囃子で幕が上がって開演です。館内が狭いせいか開演直前には300人程入る客席もほぼ満席になっておりました。

落語では、『知ったかぶりの和尚さんの話』や『子供が父親からお金をせびる話』等に大笑い。漫才やマジックそして紙切りでは、お客様のリクエストに応じて何でもありでしたが、内藤さんが羽生結弦選手を注文したら写真の通り見事な出来栄えに関心致しました。さすがは名人芸ですね。出演者は初めて聞く名前の方達でしたが、みなさん熱演で拍手喝采、爆笑で楽しい1日を過ごしました。それにしても午前11時40分から午後4時30分までずっと座っているのにはちょっと辛い座席でした（椅子が固くて狭い）が、楽しい時間が過ごせて、良かったです。

昼の部は、中入りが3時で、終演は4時30分迄でしたので、中入りの3時で自由解散と言う事なので、帰られるみなさんと一緒に浅草演芸ホールを後に致しました。



浅草演芸ホール前にて



林家正楽の紙切り（羽生結弦選手）

塙保己一の生涯 長谷川典明氏講話

12月12日予てより依頼していた講座が開催された。講師の長谷川さんは保己一誕生の地に近い児玉で教師生活や埼玉県文所館勤務の後、保己一の語り部として今日各地で講演をされておられる。

「世のため、後の為」という考え方が保己一の生涯最大の業績ではなかったであろうと長谷川さんは語りかけておられた。保己一には事業家として、政治家としての手腕に加えて、最終的には「群書類従」というとてつもなく膨大な資料の編纂に生涯をささげたとも仰っておられた。

保己一の生家は現在国指定史跡として本庄市小玉町木野にあり、保己一の遺品や関係資料などを公開している「塙保己一記念館」もあり是非一度尋ねてみるのも如何でしょうか。長谷川先生から頂いた「盲目の国学者・塙保己一の生涯」という冊子がありますので是非一読する事をお勧めします。

盲目の国学者塙保己一（延享3年5月5日生まれ）は、江戸時代の国学者。幼名は丙寅にちなみ寅之助（とらのすけ）、失明後に辰之助（たつのすけ）と改める。また、一時期、多聞房（たもんぼう）とも名乗る。雨富検校に入門してからは、千弥（せんや）、保木野一（ほきのいち）、保己一（ほきいち）と改名した。『群書類従』『続群書類従』の編纂者である。総検校。贈正四位。



皆さんは何を重要視して話しますか？

我々は日常家の中では家族と、一步外出すると近所のみなさんと、社会に出ると顔見知りで無い人とコミュニケーションをとる必要に迫られる。その時に最も大切な要素は相手の話をよく聞くことから始まる。そうすれば相手の人は自分の話を聞いてもらおうと安心感を持ち、話を聞いてもらおうと認められたと感じるようになり、牽いては関心を持たれていると感じる。そしてもっともっと話したいと言う気持ちが高まって、結果、すばらしいコミュニケーションがとれるようになる。

「きく」ことの三つの要素

- I：聞く (hear)・・・「きく」こと一般 相手を意識せず「きく」ことも含めて
- II：聴く (listen)・・・注意深く、目的を持って、主体的に「きく」・・・ききとる
- III：訊く (ask)・・・「問い」を発して相手の考えや事実を「きく」・・・ききだす

～4班 江原 ○さんを偲んで～

2月14日課外事業として開催した「浅草演芸場落語」鑑賞後、帰宅して家事中に倒れ他界されました。今年で〇〇歳と伺っております。

謹んでお悔やみ申し上げます。

故人は、9期校友会行事では「群馬の富岡製糸場」や「栃木の蔵の街」など立案、来年度事業の「あの歌この歌コンサート」も準備中でした。

また、故人の「波乱万丈人生」を自主講座として披露していただくよう依頼中でした。

史跡めぐりクラブの行事にも健脚ではないのに多く参加され、地元では「自治会パトロール隊長」として活躍されていたようです。

4班の大御所・知恵袋として、いつも話題の中心で笑顔が印象的でした。江原さん、足掛け5年のお付き合いを有り難うございました。私はいつまでも貴方を忘れません！ 4班 浪江



さいたま市シニア大学連合会文化祭開催 2月17～18日 浦和 埼玉会館

さいたま市シニア大学連合会の文化祭が2月18日浦和埼玉会館で開催された。我が9期から展示部門に3名の方から写真の出品があり、演芸部門には20名の精鋭がフォークダンスを2曲披露した。今回の文化祭参加に当たり数度の合同練習を経て本番に臨んだ。出来映えは集合写真の笑顔が成果を物語っていると確信を得た。前澤担当と三品指導員に心から感謝する次第である。

帰路、大宮の名店で慰労の宴がもよおされ、突然急死された我が友江原さんに黙とうをささげた後、安心感が結構お酒もすすんだ模様。来年も参加が期待される。



私の宝物

1班 新井 ○○

自然豊かなこの地に住んで45年、血は水よりも濃しと言いますが、姉を持たない私にも近所に三人の姉がいます。平たく言えば他人様ですが私の大切な宝物です。出会いは近くの幼稚園。さかのぼること今から45年前懸命に子育てをしていた頃です。同時にその時の縁が今日まで続くと誰が予想できたでしょうか。アルバムを開くとその当時のことが懐かしく、いろいろな出来事が走馬灯のように蘇ります。ひとくちに45年と言いましても長い歲月です。小さな出会いの芽に花が咲きやがて大きく実り、現在は実の姉妹のように固い絆で結ばれています。長いおつきあいですが一度の諍いもなく、4人の誕生日にはお洒落をして清水の舞台から飛び降りる思いの至福の一日です。又、明日への活力に年に数回の旅行をしますが、旅の相談も5分で決まる仲で本当に有難く思っています。



毎日笑顔で生活していますが時には道に迷うこともあります。そんな暗中模索の私を、闇の中から救い出してくださる、全幅の信頼を寄せるAさんの、真綿のように温かい手は、私の人生の道標です。人は財なり磨けば光る人としての知恵でしょうか、先輩から分けて頂いた数多の英知を引き出しに仕舞い、困った時にそっと出して助けて頂いています。過ぎゆく日の夜の帳が下りて、仰ぐ空には星が輝き、穏やかな一日の安否を確かめあう、夜9時の愛のダイヤルは夢の世界への誘いです。世の中が変わり大変な時代になりましたが、親しき仲にも礼儀ありを程好い距離におき、これからも終生仲良くおつきあいをお願いしたいと思っています。 万福に感謝

徒然なるままに

1班 上林山 ○○

平成30年が明けた。年が改まっての誓いや目標を立てることも無くなった。年金という僅かばかりの捨て扶持を頂戴しながら、有り余る可処分時間を如何に消費するか自問する。還暦という下りの人生の分岐から早10年だ。年の流れは足早で今年も古希を迎える～昨日は今日のいにしえ、今日は明日の昔～なのだ。



しがらみのある縦の組織からは離れ、気ままな横のコミュニティーに所属して一日一日を楽しく生きていく。面子や思惑を捨て、決して無理はしない。好きな物を飲食する。楽しいことをして嫌なことはしない。

すでにエンディングに向かう道のり途中にある身である。だから、今日という日の営みを唯々徒然なるままに、と思うのです。

麻雀同好会 100回開催を記念して

麻雀同好会 5班 前澤 ○○

去る5年前シニア9期生の創設と同時に発会して昨年11月について100回を迎えることが出来ました。当初、麻雀は手の運動に良いとか計算をするので頭の回転に良いとか言われ、5名の仲間と誰一人欠けることなく進行してきましたが、この間常に場所の準備や道具の持ち運び、車の運転等、全てT氏の協力の恩恵を受けている次第で、全会員が感謝しているところです。この行事内容は、月2回と年2回の宿泊研修の実施内容です。約5年、100回も同じことの繰り返しですが、同じ積重での行程は1回も無いことがこの麻雀の凄い所でもあります。ただし、勝負には常に勝つことが勝者であることと、常に3人の相手を意識して勝負をすることの面白さと怖さがあるものなのです。それでも、勝負は4人で行う事から囲碁や将棋に比べると技量より「運」の要素が強いの、必ずしも強い人が勝つとは限らないところが麻雀の面白い所でもあります。最後に、麻雀は忍耐力・創造力・判断力の養生が活用されれば人格形成に大いに役立つものと思われる所でもあります。

孫のお遊戯会

3班 小暮 ○○

12月1日の早朝、待ち合わせ場所の獨協大学前駅に到着。孫(年少組)の元気な姿を見て一安心した。それから徒歩10分位で草加文化会館に到着。沢山の家族がいて、その後、園児達はそれぞれの衣装に着替え、楽しそうにしていた。



しばらくして開演10時30分になり、みんなで「故郷」と「富士山」を歌った。久しぶりで懐かしかった。孫は、踊りを楽しそうに踊っていた。二曲目は「アイアイ」を鍵盤ハーモニカで。いつも練習の時は、上手いかないような便りで心配していたが、一番前で楽しそうに弾いていた。年長組が最後に終わり、その後各自食事をして解散となりました。帰りを歩きながら駅に向かいましたが、孫は初めてのお遊戯会で疲れた様子でした。これで私のハラハラドキドキの一日は終わりました。

まだまだ元気です

4班 高山 ○○

私の母親は、大正13年1月20日生まれの94歳です。春になると、畑で野菜を作ったり、庭の草取りをしたりといつも体を動かしています。朝6時に起床し、身の回りの事や家事も自分でしています。家の中でずっとテレビを見ているのが、嫌いだといいます。頭の回転も速く、何でもてきぱきこなすので、ボケている暇がありません。



暖かい日には、愛車の電動三輪車に乗って友達のところに行ったり、近所を一回りして知人に会うと世間話をして帰ってきます。子供3人、孫8人、曾孫7人に囲まれて幸せな人生だと思います。時々、曾孫が来るとお小遣いをあげるのを楽しみにしています。私は曾孫を抱ける日が来るか分かりません。母が羨ましく思います。これからも健康に気をつけて、一日でも長く生きられるように願っています。

アマクリナムとの出会い

1班 中島 ○○

27年の秋分の日、行田の田圃アートを見てから売店を覗いているとおじさんに声を掛けられ「花、好きかい」「花は好きですよ」と返事をするので球根を一つ出し、「これで終わり、安くするから持って行きな」と。その球根の名前はアマクリナムという。私はどんな花が咲くか知らないのですが、迷っていると「ピンクの綺麗な花だよ！秋から咲くよ」と・・・。



育て方を聞き、翌日直径30cmの鉢に植え楽しみにしていました。葉は出てきたものの花の咲く季節がきても咲く気配がありません。私の植え方、肥料のやり方、どうしてか分からず27年が過ぎ、その後28年も過ぎ、29年の8月、これだけ面倒をみて咲かないのだから捨てようと思いきや葉を切り落とし、球根のみ庭に植え、その後忘れていました。

気が付いた10月始め葉が1cm位の脇から数cmの蕾が出ているのです。その時の感動、今までにない喜びを味わいました。その後、グングンと伸び、一つの茎に21輪分の蕾がつき、次々と咲き、おじさんが言ったようにピンクの綺麗な花でした。近所の花好きな人と楽しみました。

お花は世話次第で綺麗に咲くと言いますが、今回どうしてか何年も咲かなかったのか不思議に思っています。今現在、アマクリナムに防寒ネットを巻き、寒さを防いでいます。今年の秋はどうなるのか？楽しみです。一つの球根の拙いお話です。